

しらかば

第68号

平成25年
(2013年)

6月

公益財団法人 北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15
北海道対がん協会 Tel (011)748-5511 Fax (011)748-5512

<http://www.hokkaido-taigan.jp/>



「役員就任ご挨拶」

専務理事 白川 賢一

本年4月から北海道対がん協会の専務理事として勤務しております白川でございます。

北海道対がん協会は、日本最初の対がん協会として昭和4年(1929年)に創立され、これまで幾多の困難に遭遇しながらも本道の対がん運動に先駆的に取り組んできた歴史ある団体であり、そうした団体にお役に立っていることを誇りに思っております。

私は、本年3月まで35年にわたり道職員として保健医療福祉行政一筋に携わり、その間、本庁はもとより、縁があって就いた地域で、多くの方々に出会い、支えられ、多くの経験を積むことができました。今後はこの感謝の気持ちを忘れることなく、対がん協会がこれまで以上に道民の方々の健康保持に無くてはならない団体となるよう、与えられた職責を全うしてまいりたいと考えております。

現在、我が国では、高齢化の進展や疾病構造の変化を踏まえ、「自分

の健康は自分で守る」を掲げ、国挙げてがんや生活習慣病の各種対策に積極的に取り組まれているところであります。

しかしながら、本道では、がんは、昭和52年以降、死亡原因の第一位となっており、平成22年にはがん で亡くなられた方は約1万7,800人と、全死亡者の3割を超えているなど、道民の生命や健康にとりまして、重大な脅威となっております。また、全国的にみますと、がんによる死亡率が高いことや、喫煙率が高いこと、がん検診受診率が低いこと、医療機関が都市部に集中していることなど、未だ、様々な解決すべき課題が多くあるところであります。

このため、道では、昨年4月に「北海道がん対策推進条例」を施行するとともに、本年3月には「北海道健康推進計画すこやか北海道21」や「北海道がん対策推進計画」を策定するなどして、道民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を目指

し、がんをはじめ生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、健康に関する生活習慣の改善等に取り組んでいるところであります。特に、全国17番目に制定された北海道がん対策推進条例については、行政のみならず、医療関係者、教育関係者、事業者、更にはがん患者やその家族の方々を含む道民の皆様が一体となって、がんの予防や早期発見の普及啓発をはじめ様々ながん対策を推進する上で大きな柱になるものと考えております。

当協会としても、これらを契機として、公益財団法人としての使命の下、皆様方の期待に応えるよう、今後、市町村や保健所等とより一層連携し、自分の健康は自分で守ることの大切さや、検診を受けていただくことの重要性について普及啓発に努めるなどして、道民の方々のがん検診や生活習慣病健診の受診率向上を目指し、職員一同力を合わせて頑張ってまいりますので、今後ともご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



●平成24年度●

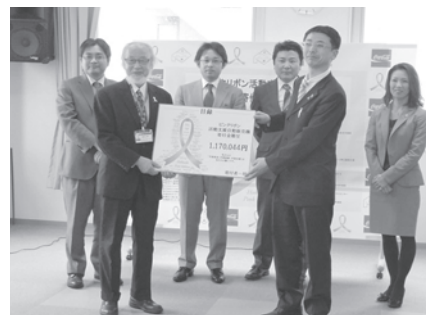
ピンクリボン活動支援自動販売機寄付金贈呈式

～北海道コカ・コーラボトリング株式会社 & 北海道対がん協会 協働推進～

平成25年2月28日（木）、平成24年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄付金贈呈式が行われました。この取り組みは、平成22年5月から北海道コカ・コーラボトリング株式会社と北海道対がん協会が協働で推進している「ピンクリボン活動支援自動販売機」によるもので、自動販売機を募金箱に見立て、飲料売上げの一部が乳がん征圧の資金に活用されています。

「北海道の女性を乳がんから守る」という趣旨にご賛同頂いた設置ご協力先様と自動販売機の数、昨年の66台から大きく数を増やし、平成25年2月現在で101台、73法人にご協力いただきました。

贈呈式では、代表して北海道コカ・コーラボトリング株式会社 札幌市場開発部長 武藤雅人様から平成24年度分1,170,044円の寄付金を頂き、ご出席くださった設置協力先である学校法人西野学園 学園本部 事務長 市川貴紀様、(株)岸本組 取締役専務執行役員 岸本友宏様、(株)ジンコーポレーション CSR推進部係長 餅加奈子様、日興美装



工業(株)営業部長 西村靖様へ、北海道対がん協会の菊地浩吉会長が感謝状を手渡し、「乳がんで悲しむ人を一人でも減らすよう事業を推進していきます」と約束しました。

当会では、この寄付金をもとに、北海道内でピンクリボン活動に取り組む非営利の市民団体へ活動資金を助成する「ピンクリボン活動支援プログラム “リボンの願い”」を開始いたしました。自動販売機による寄付事業としては道内で初めての試みとなります。活動団体申請受付は平成25年5月末をもって終了し、たくさんのご応募をいただきました。誠にありがとうございました。事業経過につきましては、今後しらかばの中でもご報告させていただきます。

ピンクリボン・ファミリー様より

支援金としてご寄付をいただきました。

平成25年4月16日（火）ピンクリボン・ファミリー代表の辻井智珠様より、支援金としてご寄付をいただきました。この寄付金は、ウイングベイ小樽内に設置した募金箱へ寄せられたもので、「ピンクリボン運動に限らず、より広くがん征圧活動に役立ててほしい。」との意図で、当協会に託されました。

ピンクリボン・ファミリーは小樽市を中心にピンクリボン運動を展開

しており、毎年5月と10月の年2回、イベントを実施しております。5月12日（日）母の日には、ウイングベイ小樽にて「母の日乳がん検診啓発活動2013～母の日にお母さんの健康を考えよう!! お母さんいつもありがとう お父さんと息子からのラブレター～」を実施しました。イベントの内容は、ステージで行われるトーク&ライブやタヒチアダンス、チビッコアダンス、自己触診の方法の披露などが行われ、そのほかにも視触診モデルの紹介、乳がん手術後のケアインナーや入浴着の紹介、抗がん剤治療中の方にも優しいタオル帽子やキャンドルを手作りする体験が行われました。ステージや体験を多く盛り込んだ内容で通りすがりの方にもなじみやすく、日曜日

ということもあり、大盛況でした。10月のイベントは講演会形式で実施しており、こちらは乳がんについて正しく知ることを目的に行っています。

ピンクリボン・ファミリーは随時メンバーを募集しております。詳細はwebでご確認ください。



ワーキング・サバイバーズ・フォーラム

～がんと仕事～

ピンクリボン in SAPPORO 実行委員会及び北海道の主催で、平成25年2月11日（月）、京王プラザホテル札幌にて「ワーキング・サバイバーズ・フォーラム ～がんと仕事～」が開催されました。

現在、日本では2人に1人が「がん」にかかり、そのうち4人に1人は50歳未満の働き盛りだと言われており、がんを経験した方の就労や雇

用問題は大きな注目を集めています。この日は、一般社団法人CSRプロジェクト 社会保険労務士の近藤明美さん（がん体験者）による基調講演、北海道でがんと仕事の問題に携わるメンバー（患者会、医療、行政）によるリレートーク、情報交換会が行われました。参加した約120名の方が、それぞれの立場から「がんになっても働き続けるための環境

づくり」について考えました。

近藤さんが副代表理事を務めるCSRプロジェクトは、がんにかかった人へのエンパワメントやがん体験者を雇用する企業への支援を行っています。基調講演では、がんと就労の現状やCSRプロジェクトの活動、社会保険労務士による就労支援についてお話いただきました。CSRプロジェクトが調査した「がん体験者の就労の現状」によると、34%の方が、がん発病後に依願退職や解雇・休業などに追い込まれたそうです。今後は「治療と仕事の両立のために企業・行政・医療機関がそれぞれの

役割を持ち地域とつながることが大切」、「社会保険労務士も、地域のつながりとしてがんの拠点病院に社労士を配置して相談支援体制を作り、また就労支援のための社労士育成にも取り組んでいます」と社労士の取り組みについてもお話いただき、「このフォーラムをきっかけに北海道でも『がんになっても自分らしく生きる社会』を皆さんと作っていきたい」と参加者へ訴えかけました。

また、リレートークにおいて、市

立札幌病院外科乳腺外科の大川由美副部長より次のようにお話がありました。「がんは早期発見で治る病気です。だから早く治療を受けてください。治療でお仕事を辞めないといけないと考える方もいると思いますが、自分の元気のため、治療を続けるために、そしてご自身と同じ職場のこれからのためにも、絶対に仕事は辞めないでください。」—元気な時は意識もしない「健康」ですが、がんにかかる確率を考えると、決して

人ごとではありません。医療の進歩によって生存率は延びていますが、生活の質（QOL）の向上にむけて、がんにかかっても安心して働ける社会が望まれます。このフォーラムをもとに、より多くの方が「がん」と仕事」について関心をもっていただければと思います。また、上皮内がん等、がんは早期であればあるほど完治しやすく、治療も簡単に済みます。よりいっそうがん検診の大切さを伝えていきたいと思いました。

大切な人を守ろう！ ～乳がん検診無料体験～

平成25年4月20日（土）、札幌ドームにて行われたアインファーマシーズスペシャルゲーム（北海道日本ハムファイターズ対埼玉西武ライオンズ戦）にて「大切な人を守ろう！～乳がん検診無料体験～」が開催されました。このイベントはピンクリボン in SAPPOROの主催、北海道日本ハムファイターズ、(株)アインファーマシーズ、北海道対がん協会の協力で実施され、開催の形は多少異なりますが、今年で5回目になります。応募多数の中から抽選で50名の方に、北海道対がん協会の検診車にて検診体験を受けていただき、その後は大切な方とペアで試合観戦もお楽しみいただきました。実際の乳がん検診では、マンモグラフィ撮影に加えて医師の診察がありますが、今回は現像したマンモグラフィを医師が読影・説明して終了のため、検診ではなく「体験」と位置付けております。

体験者の中には初めてマンモグラフィを受けたという方も多く、また、50名という少ない人数の中にも精密検査を勧められた方が数名いらっしゃって、このイベントをきっかけに乳がんに対する意識が高まったのではないかと思います。

マンモグラフィの読影を担当していただいた札幌医科大学第一外科の九富五郎先生は、「検診を受けるべ

き世代の方の意識をどう上げるかが医療関係者の永遠のテーマだと思っていますので、こういった機会

はとても大切だと思う。乳がんが見つかる最初は落ち込むかもしれませんが、医者信じて、前向きな気持ちで患者さんとご家族が立ち向かえば、乳がんは治ります。」と力強くお話をいただきました。

また、同じく読影を担当していた医療法人禎心会セントラル女性クリニック副院長の西川紀子先生は、ピンクリボン in SAPPOROの活動にもご参加されています。

「近年、乳がんの患者は増えていますが、医療者の数はまだまだ少ないと思います。また、治療となると、北海道ではどうしても札幌などの大きな都市に集中してしまっているのが現状です。今後は、医療者を増やし、それぞれが分担して、地方でも検診や治療が受けられる体制へ改善していけたらと思います。」と今後の目標もお話をいただきました。



さらに後日、北海道対がん協会も三角山放送局の乳がん啓発番組《ピンクリボン in SAPPORO》にお招きいただき、検診体験の様子と、新しく始めた日曜検診についてお話させていただきました。（写真は収録の様子です）日曜検診は、日ごろお仕事等でお忙しい方が検診を受けやすいよう、受診環境を整える目的で開始しました。今後、月に1回行われる予定です。乳がん検診をはじめ、各種がん検診やCT検査、骨検査、腹部超音波検査などを受けることができます。（詳しくは当会ホームページをご参照ください。<http://hokkaido-taigan.jp/>ご予約はホームページからも承っております。）仕事・子育て・介護等で忙しい世代に乳がんが増えていきます。日曜検診等を利用して、ぜひ乳がん検診を受けましょう！

☆三角山放送局では乳がん啓発番組《ピンクリボン in SAPPORO》を 定期的にお送りしております☆

放送日時：毎週木曜日11：00～11：20

放送局：FM76.2 三角山放送局

インターネット放送及びiPhoneでも聴くことができます。

詳しくはこちら⇒<http://www.sankakuyama.co.jp/>

出演：堺なおこ

提供：アインファーマシーズ、サミットインターナショナル



平成25年5月12日（日）母の日に、サッポロファクトリーフロンティア館と1条館をつなぐ連絡通路にて、リボンムーブメント北海道支部が「乳がん検診の大切さ」を伝えるキャンペーンを実施しました。普段は子

宮頸がんに関する普及啓発を行っているリボンムーブメントですが、今回は母の日ということで娘から母へ—お母さん世代の人に乳がん検診を受けてもらうことを目的に行いました。リボンムーブメントは全国に支

部があり、同日、東京と仙台でもキャンペーンが実施されています。

内容としては、カーネーションと、お母さんへのメッセージを記入できるカード（裏に乳がんに関する知識が記載してあります）、リボンムーブメント本部のMOTHER'S DAY CONTEST2013で受賞した3作品のいずれかが印刷されているポストカードをセットにして、500部ほど配布しました。興味を持ってくれた子どもには、メッセージカードをその場で記載してもらい、写真を撮影して、後日、札幌駅地下歩行空間の電光掲示板に流しました。小学生の娘2人から「お母さん大好き」などと書かれたメッセージカードを受け取った女性は「この子たちのためにも、がん検診を受けていつまでも元気であってほしい」と話されていました。

また、乳がんに関する知識の普及のために、ポスターを作成してブースに掲示したり、北海道対がん協会が提供した乳がん触知モデルや、実際の乳がんが写ったレントゲンを設置したりして、乳がんがどういう病気を伝えました。さらに、彼女たちの話を聞いて検診を受ける気になった方のために、パソコンを用意し、北海道対がん協会の検診のweb申込みをできるコーナーを設けました。実際には、その場で申し込まれる方はいませんでしたが、「webで

予約できると知らなかった。帰ったら予定を見て入力してみます。」との声が何件か寄せられました。

「がん検診を受けましょう。」と呼びかけても、なかなか自分のこととは捉え難いのではと思っていましたが、通行された方の何名かから「検診、受けていますよ。」「気になっていました。」「今日受けられるなら受けたいのです。」等たくさんの反応があり、うれしい驚きでした。若い人たちが、自分のことばで呼びかけるからこそ、「おっ、何だ?」と興味をひくのだと思いました。

乳がんは今や16人に1人が罹患すると言われております。

他のがんと比較して5年生存率、10年生存率が高い一方、道内の乳がん検診受診率は全国平均以下の28%



であり、欧米の80%を越える受診率とも大きな差があります。

これからもリボンムーブメントの活動の輪がひろがっていくことを期待し、応援していきたいと思ひます。

リボンムーブメントは随時メンバーを募集しております。詳細は下記URLをご覧ください。

【リボンムーブメントとは】 <http://ribbon-m.com/>

「子宮頸がん、知っていますか?」

2009年、東京に女子大生リボンムーブメントができてから、私たちは多くの人にこの問いを投げかけてきました。

予防行動を起こしてもらうため、同世代に伝える。

行動しやすい環境をつくるため、社会を変える。

子宮頸がん予防の大切さを知らなくていい人は一人もいない。

リボンムーブメントからあなたへ、あなたから大切な人へ、伝える。

みんなが行動することで日本の子宮頸がん予防は変わっていく。

活動は東京から全国へ。東京、札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡にまで広がりました。

「大切な人に、大切なことを、大切だと伝えよう。」

この想いを抱きながら、あなたと一緒にムーブメントを起こしていきます。



活動内容

- 大学生による女性特有の病気に関する正しい情報の普及・啓発
(子宮頸がん予防をテーマにしたフリーペーパーの作成・サバイバーや専門家を講師に招きイベント開催)
- 大学生による、がんの検診率の向上推進/ワクチンの接種環境の向上活動
(自治体と連携し、がん検診クーポンと一緒にフリーペーパー送付)

新川さくら並木完成記念事業 第13回 新川さくらフェスティバル 音楽祭 ～北区健康をまもるつどいによる「ピンクリボン活動」～

平成25年5月11日札幌サンプラザコンサートホールにおいて、新川さくら並木完成記念事業である「第13回さくらフェスティバル音楽祭」が新川連合町内会、新川地区緑化推進協議会の主催により開催され、あいにくの天候にもかかわらず、立ち見が出るほどの大盛況となりました。

今年は、市民、学校、行政などで構成された、子どもからシルバー世代までの幅広い年代の17団体によって、合唱や吹奏楽、和太鼓の演奏が披露されました。どの団体も、日頃の練習の成果を発揮して、本当に素

晴らしい歌声や演奏でした。最後は会場全体で新川「さくら並木」のうたを大合唱して閉会しましたが、その姿からそれぞれが地域に愛着をもっていることがよく伝わってきました。

その会場において、北海道対がん協会の協力団体である北区健康をまもるつどいにより、「さくら(=ピンク)」に因んだ、ピンクリボン活動が行われました。コンサートホール入り口に設置された受付にて、「乳がん検診を受けましょう」と検診案内が書かれた

ポケットティッシュを、一人一人声をかけながら手渡していただきました。

地域に根差した音楽祭を通して、それぞれの世代にがん検診の大切さについて知ってほしいと感じました。家庭のなかで、地域のなかで、がん検診について話される日がくるよう、よりいっそう普及啓発に努めたいと思ひます。



賛助会員名簿

(平成25年 5 月18日現在)

(敬称略)

ご 報 告

平成24年度（平成24年 4 月 1 日～平成25年 3 月 31日）の賛助会費の収支決算は、次のとおりとなっております。

会員の皆様に厚くお礼を申し上げ、ご報告致します。

なお、名簿には平成25年度の新規会員も含まれています。

収 入 の 部

個 人 会 員	410件	595,000円
法 人 会 員	120件	1,453,000円
計		2,048,000円

支 出 の 部

通信運搬費	資料等の郵送料	393,180円
印刷製本費	普及啓発用パンフレット等の印刷費	1,654,820円
計		2,048,000円

個人会員の部

札幌市中央区

相澤 信之
浅川 聡子
浅川 礼子
東 恵子
伊藤 雅子
今井 るい子
大上 婦美子
金田 晶子
菊地 浩吉
木田 達子
栗林 孜
竹江 スミエ
谷川 都夜子
千葉 敏也
塚田 律子
戸屋 浩一
西本 滋子
長谷部 孝子
畑山 智恵子
八柳 奈美子
藤原 美樹
古川 智彦
松館 啓二
松原 久雄
水野 美恵子
三谷 黎子
八巻 榮子
山本 仁史
吉岡 とも子
吉山 八郎

札幌市北区

新枝 百合子
伊賀 恵美子
五十嵐 秀子
生富 徳子
稲垣 哲夫
猪股 順子
猪股 正行
上杉 信子
植田 怜子
宇内 光枝
遠藤 洋子
大淵 五十子
大向 博子
長内 瑠美子
木村 亜矢
草薨 博己
工藤 昭子
黒田 モトエ
黒蔵 邦夫
小鍛冶 実恵子
小島 良子
小西 彩子
後藤 靖子
齋藤 芳子
佐々木 圓治
佐々木 志津子
佐々木 隆之
佐々木 秀子
佐々木 千雅子
佐々木 容子

佐竹 啓一
佐藤 幸代
佐藤 裕子
佐藤 トキエ
佐藤 まり子
篠永 蘭子
庄司 寿勝
庄司 淑子
白井 富枝
高橋 茂子
多田 洋子
田中 こづえ
富樫 みよ子
西嶋 和恵
似内 英子
橋本 智子
畠 眞佐子
花野 トキ子
浜屋 勝利
藤田 秋見
藤田 智子
藤原 恭子
古川 貞子
牧野 洋子
丸岡 和子
峯 久美子
宮崎 ミドリ
村上 軍時
森 愛子
柳橋 令子
山内 美恵子
山田 明美
横内 紫乃

吉田 直美
渡辺 知代
札幌市東区
泉 恵
市川 浩巳
浦 洋子
大川 麻美
大友 信征
奥野 信也
小田 寿
北本 哲也
小沼 真澄
小林 博子
小松 薫
斎藤 三郎
佐々木 直子
佐藤 伸尚
佐藤 則子
佐藤 文俊
佐藤 政子
佐藤 芳子
周東 百合子
鈴木 美由紀
清野 友行
高木 祐子
高橋 敏憲
高山 裕行
田丸 波於
寺田 武司
土門 廣子
中村 陽子
能田 真結
原 隼

馬場 真志
張山 朋恵
日野 順子
福澤 宗司
藤川 甫
三浦 みどり
毛利 拓哉
山口 喜代子
山崎 留美
山田 綾子
吉田 晃暢
札幌市白石区
泉谷 節子
海田 悦子
笠原 功雄
小林 和子
小林 美枝子
清水 ミヨ子
杉本 芳國
鈴木 秀
谷本 美根子
畠山 勉
山口 昌宏
札幌市豊平区
安孫子 光春
伊藤 伸一
梅澤 順子
大家 秀雄
小川 多恵子
栗田 勝
後藤 保子
佐藤 絵里子
新木 一二

杉谷 武子
高森 ふじ子
建石 春江
丹野 正宏
手林 明雄
寺尾 彩子
秦 治
花田 雅輝
藤田 博正
船橋 芙沙子
山上 みゆき
山崎 順子
山本 八重子
若松 紀多子
札幌市南区
加藤 徹
加藤 道子
加藤 睦子
佐々木 佐一
高輪 康子
萩原 重利
蜂谷 禎
前野 美代子
三好 真弓
村山 タケ子
村山 隆一
八木澤 文子
山口 由美子
山田 しをり
吉井 廣子
札幌市西区
阿部 里絵
阿部 千郁子

岩 原 友 子	辻 孝 彦	川 橋 貴 大	前 井 絵 理	来 本 富 治	共和町
岩 渕 修 司	辻 珠 代	河 村 幸 子	松 谷 和 江	網走市	矢 上 義 男
植 村 絵 美	西 川 雍 子	菊 田 信 子	水 口 勉	山 口 征 子	古平町
上 山 秀 夫	藤 田 義 人	倉 兼 俊 之	三 鍋 澄 子	苫小牧市	工 藤 誓 子
大喜多 信 子	藤 原 澄 子	木 谷 留理子	宮 本 博	川 越 祐 子	奈井江町
勝 見 登久子	細 越 信 子	工 藤 英 明	藪 谷 均	奈 良 ひろみ	加 藤 幸 子
川 合 邦 夫	三 崎 陽 子	工 藤 儀 一	山 崎 知 文	芦別市	由仁町
栗 原 鉦 一	森 川 シ マ	熊 澤 愛 子	山 下 キミ子	若 澤 貢	大 畠 安怡子
清 水 幸 代	吉 川 泰 代	熊 林 弘 美	横 田 弘 美	江別市	栗山町
志 連 義 治	渡 辺 正 嘉	黒 墨 智 希	渡 辺 富美子	縣 有 磨	坂 上 由美子
清 野 邦 義	札幌市清田区	合 田 亜 希	釧路市	木 下 邦 磨	簗 嶋 美智子
田 上 稔 子	阿 部 春 郎	小 関 正 道	浅 井 正 子	佐 藤 光 春	鷹栖町
竹 内 瓊 子	羽 賀 俊 夫	小 林 暉 親	遠 藤 智 仙	真 方 敏 一	船 橋 幸 子
中 川 昌 代	半 田 信 子	斉 藤 毅 毅	大 石 耕 治	山 口 孝 代	安 保 智 典
水 野 綾 子	南 出 博 子	坂 田 裕 美	北 田 雅 嗣	山 本 光 博	東神楽町
南 聡 一	矢 上 尚 寿	佐々木 重 男	木 村 美江子	紋別市	新 関 おりえ
茂 木 由 紀	吉 川 伸 也	佐々木 弘 之	工 藤 典 子	太 田 泰 三	当麻町
山 口 裕 晃	函館市	佐 藤 和 美	小 西 恒 彦	太 田 富美子	井 坪 利 子
山 室 吉 博	村 山 信 夫	佐 藤 利 男	佐々木 澄 子	竹 澤 康 裕	阿 部 全 孝
山 本 武	小樽市	霜 下 慎 一	佐々木 光 春	舟 見 美登里	上川町
札幌市厚別区	安 達 英 明	推 名 安 之	新 堀 正 繁	士別市	木 村 美江子
小 角 貞 子	小 林 万寿子	鈴 木 貴 視	中 尾 繁 和	佐々木 公 則	三 栖 初 代
佐々木 稔 一	高 井 瑠璃子	鈴 木 宏 彦	生 地 義 子	根室市	増毛町
佐 田 詔 一	平 松 美智子	鈴 木 宏 彦	橋 本 厚 子	伊 東 豊 賢	長 田 ひ さ
志 田 加那恵	旭川市	高 橋 綾 子	東 崎 英 子	高 崎 興 史	西 尾 ヒ ナ
柴 田 弘 子	青 木 津弥子	高 橋 和 枝	久 田 保 枝	恵庭市	高 橋 豫 克
菅 野 康 一	浅 香 伸 一	高 橋 まゆみ	松 木 文 子	南 キミ子	遠軽町
立 崎 磯 夫	池 野 龍 夫	高 畑 弘 子	三 浦 清 子	伊達市	佐 藤 ケイ子
田 中 春 子	石 川 文 秋	田 中 妙 子	村 田 治 美	東 愛 子	大樹町
佃 和 雄 恵	石 川 良 美	田 村 阿伊子	矢 口 初 子	平 口 浩 造	茂 木 千恵子
土 田 雅 恵	石 橋 重 雄	千 葉 美奈子	山 本 終 一	本 間 幸 子	弟子屈町
新 田 康 子	石 山 好 人	戸 嶋 梓	吉 川 カツエ	北広島市	齊 藤 牧 子
橋 掛 清 市	今 村 伸 博	中 田 俊 之	帯広市	高 橋 寿 枝	野 口 政 雄
深 沢 武 雄	岩 城 弘 子	中 西 健 三	前 田 龍 男	服 部 智恵子	鶴居村
横 山 恒 愼	岩 崎 敏 博	中 山 和 治	山 本 依史子	石狩市	滝 澤 博
札幌市手稲区	上 田 進	中 山 仁	吉 岡 正 史	内 田 一 子	向中野 斌
大 中 房 江	上 西 勝	西 田 大 希	北見市	小 松 寛 子	白糠町
工 藤 重 文	蛭 原 トモ子	長谷川 優 希	阿 部 千鶴子	福 田 泰 子	池 田 昭 子
駒 沢 一 信	荻 原 亮 一	林 知 子	楠 瀬 郁 代	新篠津村	田 森 直 子
今 野 信 代	小野寺 兌 子	東 辻 和 彦	寺 尾 幸 一	高 村 範 子	桧 森 千枝子
嵯峨山 実 瞳	笠 茂 光 範	藤 井 哲 哉	岩見沢市	生 田 晃 吉	廣 谷 完 三
瀬野尾 瑞 枝	加 藤 智 子	藤 田 静 江	石 井 知 江	乙部町	廣 谷 スマ子
高 井 瑞 収	狩 野 登美子	逸 見 祥 洋	猪 股 正 治	京極町	峯 田 弘 子
高 井 収	川 瀬 政 勝	逸 見 洋 子	今 井 武 志	後 藤 ヒデ子	茂 木 スズエ
					山 口 祥 子

市町村会の部

赤井川村
安平町
北竜町
余市町
八雲町
蘭越町
留寿都村
置戸町
和寒町
天塩町
羅臼町
標茶町
厚岸町

株式会社 北洋銀行
株式会社 北海道新聞社
株式会社 ほくやく
株式会社 ムトウ
大丸藤井株式会社
東京防災設備株式会社
トッパンフォームズ株式会社 北海道営業本部
北海道カーオイル株式会社
マンパワーグループ株式会社 札幌支店
小南印刷株式会社
前田タイヤ株式会社
株式会社 常光
アイ・ティ・エンジニアリング
有限会社 クイックドライかさはら
カイゲンファーマ株式会社
菱晃産業株式会社
出光リテール販売株式会社 北海道カンパニー
株式会社 日立ビルシステム
株式会社 北海道医療新聞社
株式会社 北基サービス
北海道エネルギー株式会社
なかせき商事株式会社 札幌営業所
日立アロカメディカル株式会社
パンフィックバンディング北海道株式会社
株式会社 日信
株式会社 HBA
北海道キンビバレッジサービス株式会社
ベル通信工業株式会社
札幌臨床検査センター株式会社
デンソーテクノ株式会社
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
サントリービバレッジサービス株式会社
道央情報サービス 協同組合
一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
有限会社 丸や山口商店
関販テクノ株式会社
堀井薬品株式会社 札幌営業所
石狩市
株式会社 リプロワーク
北広島市
札幌自動車工業株式会社
社会福祉法人 北海道リハビリー
岩見沢市
医療法人社団 倉増整形外科
旭川市
協同車輛整備工業 有限会社
産婦人科内科あべクリニック
株式会社 ノヴェロ 旭川支社
高砂熱学工業株式会社
株式会社 あいわプリント
旭川レディースクリニック
旭川市市民委員会連絡協議会女性部会
環境衛生工業株式会社
澤井石油商事株式会社
パンフィックバンディング旭川株式会社
有限会社 北光クリーニング
医療法人 アイ・ウィミズクリニック
北海道コカ・コーラボトリング株式会社 旭川事業所
有限会社 入江タイヤサービス
旭川トヨタ自動車株式会社 末広支店
株式会社 ホンダカーズ旭川 末広店
株式会社 ムトウ 旭川支店
有限会社 ミヤザキ
東光マタニティクリニック
株式会社 富貴堂ユーザック
株式会社 ほくやく
北海道日野自動車株式会社 旭川支店
株式会社 ドーホク

日興自動車工業株式会社
有限会社 旭川ティービーエム
医療法人社団 せせらぎ通りクリニック
釧路市
安藤電気保安事務所
株式会社 第一クリーニング
加勢内科医院
道東勤医協 くしろ医院
杉元内科医院
株式会社 トヨタレンタリース釧路
千代田電装工業株式会社 釧路支店
有限会社 クリーニングいまい
医療法人社団 功仁会 足立皮膚科美容外科クリニック
大栄商事株式会社
株式会社 松井建設
安藤印刷舗株式会社
阿寒歯科診療所 大澤正幸様
釧路歯科医師会
東洋印刷株式会社 釧路営業所
株式会社 ほくやく
株式会社 ウチダシステムソリューション
釧路総合印刷株式会社
朝日テクノ株式会社 釧路営業所
株式会社 近藤設備工業
帯広市
株式会社 帯広臨床検査センター
大同出版紙業株式会社
東京都
まほろば総合保険株式会社
コード有限責任事業組合
千葉市
公益情報システム株式会社

法人会員の部

札幌市

株式会社 朝日新聞社 北海道支社
有限会社 医用センターフクヤ
伊藤組土建株式会社
株式会社 ATM保険事務所
株式会社 エンバイアー
公益財団法人 北海道結核予防会
三機工業株式会社
つつけんビジネス株式会社
株式会社 日栄舎
日興美装工業株式会社
北海道日野自動車株式会社
株式会社 ベルックス
社団法人 北海道医師会
北海道放送株式会社

がん征圧に尊い寄付金

平成24年8月～平成25年5月までにお寄せ頂きました寄付金は、次のとおりとなっております。
誠にありがとうございました。

菊地浩吉様	250,000円
ロッテ商事株式会社 北海道支店様	287,374円
社会医療法人北斗様	73,969円
北海道ペプシコーラ販売株式会社様	165,924円
札幌駅総合開発株式会社様	
北海道ペプシコーラ販売会社様 (連名)	18,890円
株式会社 アベックス寄付金様	9,434円
アサヒカルピスビバレッジ株式会社様	7,280円
ピンクリボンinサッポロ実行委員会様	812,978円
北海道コカ・コーラボトリング株式会社様	1,170,044円
大塚忍様	250,000円
山崎知文様	300,000円
ピンクリボン・ファミリー様	10,000円



23年ぶりにがん征圧全国大会が北海道で開催されます。

(今年度はがん予防道民大会の開催はありません)

平成25年度がん征圧全国大会 (概要) 大会テーマ「若い力、いのち輝け、北斗の指針」

- 1 日 時： 平成25年9月13日 (金) 10:00~12:30
- 2 場 所： ニトリ文化ホール (さっぽろ芸術文化の館)
- 3 内 容： ・朝日がん大賞 (日本対がん協会賞特別賞) 授賞式
・日本対がん協会賞 (個人・団体) 授賞式
・記念講演 アグネス・チャンさん (日本対がん協会ほほえみ大使) ほか
- 4 主 催： 公益財団法人 日本対がん協会、公益財団法人 北海道対がん協会
- 5 後 援： 厚生労働省、日本医師会、北海道、札幌市、北海道医師会、北海道健康づくり財団、北海道家族の健康を守る地域団体連合会
- 6 申 込： 参加には事前申し込みが必要です。詳細は北海道対がん協会までお問い合わせください。(Tel011-748-5511 担当：植村)

受けようがん検診！
日曜検診のご案内
年に一度の健康チェック

6月30日 日曜日

胃がん	子宮がん	腹部超音波
肺がん	乳がん	内臓脂肪 CT
肺がん CT	骨密度検査	肝炎検査
大腸がん	婦人科超音波	
前立腺がん		

検診をご希望の方は、
お電話予約が必要です。
748-5522
月曜日～金曜日…午前9時～午後5時
第1・3土曜日…午前9時～12時
※定員になり次第、締め切らせていただきます。
インターネットからもご予約ができます。
<http://hokkaido-taigan.jp/>

受付時間 午前8:30～午前10:30
※詳細については、予約時にご確認ください。

検診会場 公益財団法人 北海道対がん協会
札幌がん検診センター
札幌市東区北26条東14丁目1-15
748-5511 (内)

北海道対がん協会では 「日曜検診」を 開設しております！

「検診を受けたいけど仕事を休めない。」
「平日は子どもをみてくれる人がいない。」
「土日じゃないと、送ってくれる人がいない。」など
平日に検診を受けることが難しい方を対象に、
日曜検診を開設いたします。

これまで日曜検診を実施してまいりましたが、
より多くの方に、がん検診を受けやすい環境を
ご提供できるように、今年度から年間を通じて開設
することといたしました。
ぜひこの機会に、あなたと、大切な家族のために、
がん検診を受診しましょう！

- 1 **検査科目**： 胃がん、肺がん、肺がんCT、大腸がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん、骨密度検査、婦人科超音波、腹部超音波、内臓脂肪CT、肝炎検査
- 2 **検診受付時間**
開始 午前8:30 ～ 終了 午前10:30
- 3 **検診会場**： 札幌市東区北26条東14丁目1-15 (地下鉄東豊線元町駅下車徒歩7分・駐車場完備)
北海道対がん協会札幌がん検診センター
- 4 **予約について**： 日曜検診をご希望の方は、あらかじめご予約が必要となります。
お申し込み方法は、お電話予約をお願いします。
定員になり次第、ご予約を終了させていただきます。
- 5 **料金について**： 検診の料金につきましては、お住まいの市町村によって異なります。札幌市にお住まいの方は下記ホームページにてご確認ください。
それ以外の市町村にお住まいの方は、恐れ入りますが、お電話でお問い合わせください。

■お問い合わせ

公益財団法人 北海道対がん協会
〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1番15号
Tel: 011-748-5522 Fax: 011-748-5512

■ホームページ

公益財団法人 北海道対がん協会
(<http://www.hokkaido-taigan.jp/>)